

みずえだに新聞

Vol.53

2025 年 10 月

秋号



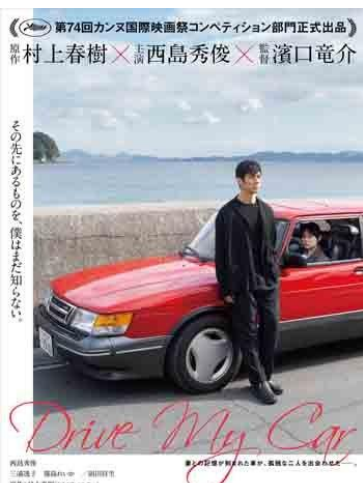
院長のささやき

映画のワンシーン

毎年この時期は、「読書の秋」にちなんでスタッフ全員の読書感想文を掲載しています。しかしここ数年は、「秋」とはいつても名ばかりで、まだまだ暑い日が続いています。しかしそんな中にも少しずつ季節の移り変わりを感じている今日この頃です。

さて話は変わりますが、皆さん「ドライブ・マイ・カー」という映画をご覧になったことがありますか？ 2021年に公開された日本映画で、作家村上春樹の同名短編が映画化された作品です。アカデミー賞や国際長編映画賞も受賞しています。当時とても話題になった映画だったので、興味本位で観てみました。主人公の家福役は「西島秀俊」その妻「音」役は「霧島れいか」その他、ヒロインの「運転手」に「三浦透子」、その他劇団の役者として「岡田将生」などが出演している。

舞台俳優で演出家の家福悠介は、脚本家の妻、音と幸せに暮らしていた。しかし、妻はある秘密をのこしたまま他界してしまふ。2年後、喪失感を抱えながら生きていた彼は、演劇祭で演出を担当する事になり、愛車の「サーブ」で広島へ向かう。そこで出会った寡黙な専属ドライバールの「みさき」と過ごす中で、家福はそれまで目を背けていたあることに気付かされていく。まあ、こんな感じの映画です。更に内容が気になる方は、是非実際の映画をご覧になってみて下さい。今回はこの映画の中に出て来る広島の、とある島についての話題です。



先日、学会参加のため広島に行ってきました。だいぶ前からこの日程はわかっていたので、早めに宿を予約しようと、数ある宿を色々見ながら、どこにしようかと悩んでいました。広島行きは久しぶりでしたので「ちよつと良い所にでも泊まろうか」と妻とも話していたのですが、サイトのページをめくっていた時、どこかで見覚えのある風景が目に入ってきました。必死に記憶を呼び戻すも、なかなか思い出すことが出来ずにいたのですが、しばらく考えているうちに突然思い出したので。そうこの映画「ドライブ・マイ・カー」のワンシーンを。



主人公の家福が広島で行われる国際演劇祭の舞台演出家として招聘され、その時に滞在したのがその宿だったのです。宿泊予定の日はまだ空いていました。一日一組限定の古民家の宿です。速攻で予約しました。映画の中では、家福が窓際の棚に腰掛け、そこからの風景を眺めるシーン

ンが出て来ます。瀬戸内海に浮かぶ島々が見え、四国まで見渡せる絶景です。部屋に入ると真正面にその風景が目飛び込んできました。まさに映画のワンシーンに入り込んだような気分になり、優雅なひと時を過ごす事が出来ました。オーナーの方のとても気さくな方で、何から何まで「おもてなし」をして頂きました。話をするうちにその方は以前、鹿児島島に住んでいた事があるとか。私の話す鹿児島弁がとても懐かしかったようです。

「読書の秋」

感想文特集

歯科助手

郷原 理子



今回はどの本にしようか迷って探していたら、タイトルの「たぶん私たち一生最強」といい本を見つけその本の裏表紙の帯に「もうさー女友達と一生暮らしたいんだよね最近は！」という言葉を見てよく会う友達2人と冗談混じりでこんな事言ってたなあと思ひながらこの本を読んでみようという手に取りました。

この本を読んで思ったのは、自分の周りがどんな結婚していったって恋愛や結婚が幸せの形だと思っていました

が、友情を中心に人生を築くのもとてもいい選択肢だと気づかされました。これからも仲間との絆を大切にしていきたいと思います。ぜひ落ちていきたいと思いました。ぜひ落ちていきたい人や自分の生き方に迷っている人に読んでもらいたいです。

歯科衛生士

萩野 麻衣



迷いながら子どもと向き合っている、すべての人へ——



子どもを見守ること

この本の著者は、医師であり、臨床心理士である田中茂樹先生です。20年以上にわたり子育てに関するカウンセリングを続け、本にしてください

ました。

育児に関する悩みは本当に尽きません。いつか1番大変だったかという、その時その時が、今が1番大変なのではと思っていただいほど、悩んできました。今もまさにそうで、子供が何を考えているのかわからない、と頭を抱える日々です。

本作では子供の様々な年齢で立ちのだから親の悩みがたくさん載っています。まさにウチの話では？！と思うものがいくつもあり、自分だけではないんだ、と思ったり、ヒントをもらったような気持ちになりました。私は高校生の息子に、「将来自分が困るんだよ」というようなことばかり言っていました。

まうのですが、《子供と過ごす時間は、将来のための準備期間ではありません。今この瞬間こそが、人生の目的であり、かけがいのない時間なのです》とありました。この言葉は今の私にとっても刺さり、子供に申し訳なく思いました。わかっていても、苛立つ感情に負けてしまう日々です。こうして文字にされて目で見て冷静になれるのかもしれないと気づき、この本を繰り返し読んでいこうと思いました。良い本に出会えました。

歯科助手

さめしま なおみ
鮫島 直美

本屋さんの店員の方に勧められて選びました。主人公は、笑子はアルコール依存症で、夫の睦月は同性の恋人がいて、二人はお見合いで出会いました。お互いにアルコール依存症、同性愛者の恋人紺という男性がいることを知って、出会って、5日後には結婚しています。最初はこんな夫婦で、生活できるのかなあと思ひながら読んでいくと、お互いに支え合い許し合い、アルコール依存症、同性の恋人を否定せずに寄り添って生活している感じがしました。お互いに完璧な相手を探さなくても、お互いに欠点を受け入れられる方なら、夫婦の生活も上手くいくのかもと私に思っていました。

歯科衛生士

いわやま はなえ
岩山 華恵

パン屋さんって、本当に良い香りがありますよね！私も本当に好きなのですが、こちらの本も、つつい表紙をみかけて手にとったものです。ベーカーノステイモで関わる、職場の人達の会話、パンを作る工程、それぞれの思いなど。主人公の日常には、共感したり、観察力に驚かされます。食べ物には空腹を満たすだけではなく、心も満たし、支えてくれる力がある。など、読みながら自分も納得してしまうフレーズも楽しめます。

また第一に、それぞれのパンが本当に美味しそうになりました。つついパンが食べたくなる。それぞれのパンの美味しそう!!

が詰まってるところに、登場人物たちの謎が少しずつ解明されていく。美味しく・おもしろく読める一冊でした。美味しく・楽しい秋を楽しめたらと思います。

歯科助手

はたなか もえ
畠中 萌

弥／西野亮廣／三木谷浩史／
江貴文／山中伸弥
近大スピーチ
15分で人生が変わる
心に刺さる言葉
YouTube再生数3800万回
伝説のスピーチ集
堀／つくく／秋元康／EXILE HIRO／安倍晋三

『近代スピーチ』を選んだきっかけは、西野亮廣さんのスピーチを、数年前に動画で見たことから、その言葉に心を動かされ、もつといういろんな人のスピーチを読んでみたいと思ったからです。実際に本を手にとってみると、多くの著名人の言葉に触れることができ、とても学びがありました。

その中でも特に心に残ったのは秋元康さんのスピーチです。秋元さんの言葉は、どこか軽やかで温かさにあふれ

ており、前向きな気持ちになりました。この本を通して、言葉が人の心を軽くし、前に進む勇気を与えてくれるものだと感じました。私自身も日々の中で、誰かの心をやわらかくできるような言葉を大切にしていきたいと思っています。

しもつまゆこ
パート 下津真由子

この本は、読むだけで元気になるとイン스타그램で話題を呼び、フォロワー39万人を超える田口久人氏の話作になります。日々生活していて、少しでも楽しく過ごせるように、前向きに生きたいと思っている私には、とても興味深い本でした。

仕事、家族、人生など幅広いテーマで

色々な世代の人が共感できる言葉がたくさん載っていて、参考になります。頑張っているのにうまくいかなかったり、自分の思うようにいかず落ち込んだ時、ほんの少しだけ見方を変えるところで心が楽になる事があると思います。また、心が下向きになってしまった時に、頑張り過ぎない事が大事で、無理して前向きになろうとせず、この本を読んで心を軽くして明日に繋がればいいなと思いました。

求人情報

人手不測の波は確実に当院にも押し寄せています。現在次のスタッフを緊急募集しております。どうか助けて下さい

◆受付・事務

経験などは問いません。簡単なPC操作が出来れば大丈夫です。

正社員・パートどちらでも構いません。

◆器具洗浄係

経験、年齢問いません。夕方(17時)19時隙間時間 を有効活用しませんか？健康な方ならだれでも出来ます。※詳細は受付まで！

いけますな つみ 歯科衛生士 池増奈津美



人生の勝負は朝で決まるとはどういう事だろうと思い読んでみる事にしました。

この本には早起きする事で成功した著者や周りの人体験が仕事、勉強、人間関係、恋愛などにわけて書いてありました。でも人生の勝負は朝で決まるというのはいきなり過ぎかもしれないと思うことでした。夜型の人も多くいると思うからです。でも昔から早起きは三文の徳。と言われるように早起きはいい事だとは思いますが。

またこの本には早起きするための睡眠の大切さも書かれてあります。人生のおまけとして睡眠があるのでではなく睡眠こそが人生の主役である。

よく寝て目覚めの良い朝をむかえるためには、起きている間よく考えてよく働く事が大事で、朝目覚めた事に感謝して一日を過ごす事が大切と言うことです。変わり映えのしない毎日でも、何かいい出来事があるかもしれないと思つて早起きしてみるのもいいかもしれませんね。

子供の頃遠足の前の日のようなワクワクした気持ちのような、ちよつとした事でも朝を楽しみに迎えられるれば幸せな事だともいいます。

朝目覚めが幸福な人は人生の勝者である。

歯科衛生士

まつだりな
松田 梨菜



今回私は『眠れなくなるほど面白い胃と腸の話』と、いう本を選びました。

読んで、ふだん当たり前のように働いてくれている体に、こんなに不思議で大切な仕組みがあるんだと感心しました。胃や腸は食べ物を消化するだけの場所だと思つていましたが、腸内細菌のバランスが心や体調にまで影響していることを知り、改めて毎日の生活の大切さを感じました。

実は、私自身も健康や体質改善のために、2年ほど前から腸活を意識しています。この本を手にとったのも、もっと勉強してみたいと思つたからです。読んでみて、ただ食事制限を頑張るだけではストレスになるし、長くは続かないということがよくわかりました。だからこそ、楽しみながら無理なく取り組んでいくことが一番大事なんだな、と前向きな気持ちになれました。専門的な話もやさしく書かれていて、イラストもわかりやすく、最後まで楽しく読むことができました。これから「腸が喜ぶ毎日」を少しずつ続けていけたらいいと思います。

歯科衛生士

わたなべ まい
渡辺 舞



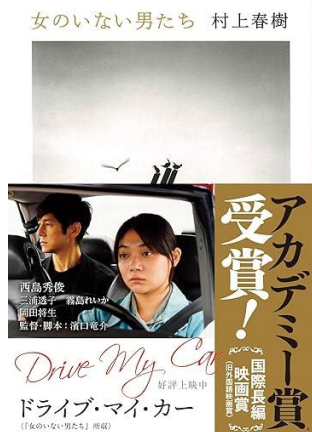
「出会うなら、こんなやっかいな神様がほしい！」という帯の言葉に惹かれてこの本を手に取りました。ある日突然、腕に大きく「神様当番」と書かれた5人。その文字を消すには神様の願いを叶えなければなりません。それぞれ悩みを抱えていたり、自信が持てず行動してこなかった登場人物が神様の頼みを通して誰かを助け、自分の足で一步踏み出す姿に心を動かされました。文字が消える頃には、明るく前向きになっている様子から、誰かのために行動することで自分も救われるんだと、改めて感じました。やっかいな神様が創り出したちよつとおかしくてあたたかい物語です！ぜひ読んでみて下さい。



院長 みずえだに ひろみ 水枝谷 浩己

表紙で紹介した映画「ドライブ・マイ・

カー」の原作本、村上春樹の短編集を紹介します。『女のいない男たち』この中の一つが「ドライブ・マイ・カー」です。他にも「イエスタデイ」「シエラザード」「木野」など全6編が収められています。この6編に順位を付けるのは違う。かといって全てが繋がっているでもなく、全く別々でもなく。全てを読んで一つの芸術を味わったような不思議な余韻が残る作品です。映画「ドライブ・マイ・カー」はこの短編集の中の3つの作品「ドライブ・マイ・カー」「シエラザード」「木野」が合わさって出来たもの。興味があれば、原作本、映画、チャレンジしてみてください。



読書感想文と言いながら、私の場合、本や映画の紹介ばかりでしたので、最近読んだ本の感想を書きたいと思います。



人はみな誰しも失敗はします。失敗など皆無で完璧にすべての事をこなす人なんておそらくいないでしょう。また「失敗は成功のもと」「災い転じて福となる」など「失敗」に関する数々のことわざや格言も存在します。詰まる所、失敗をいかに成功に導いて行くことが重要であるかという事の表れだと思うのです。世の中には失敗から産まれた産物も多数存在します。ダイナマイト、ナイロン、抗生物質もそうですし、身近な所ではコカ・コーラやポストイットもそうです。失敗を恐れて何もしないというのが、一番良くないのではないかと私は思います。

失敗に対する姿勢の比較として、本書では、医療機関と航空業界における失敗のとらえ方の違いが紹介されています。航空業界においては、問題が発生した時、パイロットは正直にオープンな姿勢で自分のミスを報告する。また、事故調査のための独立調査機関が存在する。失敗は特定のパイロットを非難するきっかけになるのではなく、すべてのパイロットにとっての貴重な学習のチャンスとなる。一方医療業界においては、医療事故が起こっても事故が起こった経緯等、データ収集をしていない。そこでショッキングな事実があります。2013年の論文によれば、回避可能であった医療過誤による死亡者数が年間40万人にのぼるという。この数は、航空業界に置き換えると、ボーイング747が一日2機事故を起こしているに等しい。航空業界においては、失敗から学ぶ姿勢（学びが世界中でデータを共有され、リアルタイムで情報にアクセスできる）により、その後の航空機事故を激減させることに成功しているのですが、その一方、ミスを共有する意識のない医療業界においては、医療過誤が大きく減らない、との差が生じているのです。

医療現場に身を置く私達にとつては、耳の痛い話ではあります。しかし最近の医療現場においては、「ヒヤリ・ハット活動」が充実してきています。「ヒヤリ・ハット」とは、重大な事故には至らなかったものの、ヒヤリとしたりハットしたりした、一歩間違えば事故につながり兼ねない出来事の事です。このような事例を事前に収集・分析・共有する事で医療事故の防止・医療安全に役立てられているわけです。いづれにせよ失敗を成功に結び付けていくことが重要である。それを教えてくれるのがこの本です。ちなみに「失敗」と言えば、「私、失敗しないので」で有名な「ドクターX」の外科医、大門未知子ですが、最後の映画版「ドクターX」のシーンで使われた田舎の医院が、先の「ドライブ・マイ・カー」の宿のすぐ近くにありました。



幸恵先生の

歯のはなし



がテーマなので、せっかく与えられた機会に「積読」になっていた本を取り

朝夕の窓から入る風が、幾分秋めいてきました。秋の花が咲いていたり、雲も秋の雲に変わっていくのを見ながら、夏が終わっていくのが嬉しいような寂しいような気分になります。

秋は学会の季節でもあります。先日、熊本で行われた学会で高齢者の口腔健康状態と年間医療費の関係について発表がありました。「口の渇きが気になる」「頬の膨らみが十分できない」「反復唾液嚥下テストが2回以下」という人は、そうでない人に比べて年間医療費が4万円から5万円高いという結果だそうです。鹿児島市在住の方は、歯っぱー検診でそれらの項目のテストがあります。もし、結果が思わしくなくても、トレーニングで改善します。受診券が送付された対象者の方は、ぜひ一度、当院で検査を受けてみてください。

秋の夜長に、のんびり読書を楽しめればよいのですが、最近は何かと忙しく、移動の車や新幹線の中で読書をしています。みずえだに新聞秋号は読書



出し読みました。一冊目は「最後は笑

ってさよならをしよう」です。1ページ140字の超短編小説集なので、隙間時間に読むのにはぴったりです。ツイッターの文字制限が140字であったため、今では140字小説という新たなジャンルができたそうです。恋愛や友情に関するお話が多いので、若い頃を思い出し、そんな事もあったなと遠い過去を思い出す一冊です。SNSに疎い私は文字数制限なども知らずにいましたが、ネットで何かを調べようとすると、最近インスタグラムやXのアカウントを持っていないと見られない情報も多くなりました。「昭和はよかった。」と愚痴の多い毎日ですが、令和にアップ

デートが必要なのかと思う今日この頃です。

もう一冊は「NHK国際放送が選んだ日本の名作・1日10分のしあわせ」

です。8話の短編が収められています。心温まるもの、考えさせられるものなど、どの作品も素敵です。自分の望まない部署に異動を命じられる新人が、細かいことにこだわる上司の秘められた過去を知る「清水課長の二重線」。私が研修医だった頃、教授から「半角、全角」「余白」について教わったことを思い出しました。一人暮らしを始める娘に、母が贈ったものを描いた「鍋セット」は母から言われた、数々の小言や母の手料理を思い出しました。もちろん私を思ってたの事でした。が、当時は素直に聞けなかったなとか、もっと料理の事も聞いておけばよかったなど、今更ながら後悔しました。母親の入院お見舞いに、バスで通う少年とバスの運転手の関係を描いた「バスに乗って」は特に心に沁みました。私が初めて一人でバスに乗った幼稚園時代のだきドキは今も忘れられません。母親思いの少年の言動に、読みながら頑張れと心の中で声援を送りながら読みました。この「バスに乗っ

NHK国際放送が選んだ日本の名作

1日10分の
しあわせ

朝井リョウ
石田衣良
小川洋子
角田光代
坂本司
重松清
東直子
宮下奈都



双葉文庫

て」は教科書にも掲載されたことがあるようなので、読んだ方も多いかもしれません。本を読むことで、昔の記憶や気持ちを思い出したり、温かさや切なさを感じられるので、読書はやはりいいものですね。

秋と言えばスポーツの秋でもあります。今年、今年目標の体力づくりは、全く達成できていません。テレビで一日5分、数セットなど如何にも簡単にできそうな運動でも継続できません。「幸せの秘訣はやりたいことをするのはなく、やらなければならないことを好きになることである」とピーターパンの作者のジェームズ・バリーが言っています。気候も良くなってきました。運動もそう考えて楽しめるようになりたいです。みなさんはどんな秋を過ごす予定ですか？